

湖広総発第 1030 号
令和 6 年 10 月 11 日

湖南広域行政組合
管理者 橋川 渉 様

湖南広域行政組合監査委員 岡野 則 男

湖南広域行政組合監査委員 武村 賞

令和 5 年度湖南広域行政組合一般会計および救急医療特別会計歳入歳出決算
ならびに基金運用状況の審査意見書の提出について

地方自治法第 233 条第 2 項および第 241 条第 5 項の規定により、令和 5 年度湖南広域行政組合一般会計および救急医療特別会計決算ならびに基金運用状況を審査した結果について、次のとおり意見書を提出します。

目 次

第1	審査の概要	
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の手続き	1
第2	審査の結果	
1	決算計数について	1
2	財政状況について	1
第3	各会計別決算の結果	
1	一般会計	
(1)	総括	2
(2)	歳入の状況	2
(3)	歳出の状況	4
2	救急医療特別会計	
(1)	総括	8
(2)	歳入の状況	8
(3)	歳出の状況	10
3	財産に関する調書	13
	(1) 公有財産 (2) 施設、無体財産権および物品	
第4	基金の運用状況	14
第5	むすび	14
	(注記)	
1	比率(%)は、小数点第3位以下をそれぞれ切り上げ、切捨てし、掲出した。	
2	比率は、比較する計数がない場合は「皆増」、「皆減」と表示した。	
3	構成比率(%)は、合計が100となるよう一部調整した。	
4	「-」は、該当数値のないものである。	

令和5年度決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和5年度湖南広域行政組合一般会計歳入歳出決算

令和5年度湖南広域行政組合救急医療特別会計歳入歳出決算

令和5年度湖南広域行政組合基金運用状況

2 審査の期間

令和6年9月27日から令和6年10月4日

3 審査の手続き

この決算審査にあたっては、管理者から提出された歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、財産に関する調書および歳入歳出決算事項別明細書に基づき、また、主要事業については関係部局からの説明を聴取するとともに、定期監査および例月出納検査の結果を参考にして、財政収支の合法性、予算執行の的確性・効率性、財政運営の適否を主眼とした実質的審査ならびに関係諸帳簿および証拠書類との照合による計数の確認をする形式的審査の両面にわたり審査した。

第2 審査の結果

1 決算計数について

審査に付された各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書および財産に関する調書の計数は、それぞれ関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、いずれも正確であり、その管理および運用についても適正であると認められた。

2 財政状況について

令和5年度湖南広域行政組合一般会計および救急医療特別会計の決算額を統括すると、次表のとおりである。

(単位：円)

区分 会計別	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
一般会計	5,137,375,346	5,037,165,799	100,209,547	29,544,000	70,665,547
救急医療特別会計	198,822,342	197,149,350	1,672,992	0	1,672,992
合計	5,336,197,688	5,234,315,149	101,882,539	29,544,000	72,338,539

第3 各会計別決算の結果

1 一般会計

(1) 総括

令和5年度一般会計の決算状況は、予算額5,234,921,000円に対し、

収入済額 5,137,375,346円

支出済額 5,037,165,799円

差引残額 100,209,547円

となっており、当年度の形式収支は100,209,547円の黒字となっている。

また、翌年度へ繰り越すべき財源29,544,000円を差し引いた実質収支は、70,665,547円の黒字となっている。

なお、前年度実質収支が47,291,851円あるので、これを差し引くと23,373,696円の単年度黒字決算となっている。

一般会計決算収支表

(単位：円、%)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
歳入総額 ①	5,137,375,346	4,446,836,088	690,539,258	15.53
歳出総額 ②	5,037,165,799	4,399,544,237	637,621,562	14.49
形式収支 ③=①-②	100,209,547	47,291,851	52,917,696	111.90
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	29,544,000	0	29,544,000	皆増
実質収支 ⑤=③-④	70,665,547	47,291,851	23,373,696	49.42
単年度収支(実質収支-前年度実質収支) ⑥	23,373,696	21,495,553	1,878,143	8.74

(2) 歳入の状況

歳入の決算状況は、次のとおりである。

予算現額 5,234,921,000円

調定額 5,137,375,346円

収入済額 5,137,375,346円

不納欠損額 0円

収入未済額 0円

令和5年度の収入済額は、前年度に比べ15.53%増加しており、予算現額に対する割合は、98.14%(前年度100.03%)、調定額に対する割合は100%(前年度100%)となっている。

款 別 収 入 状 況

(単位：円、%)

款 別	予算額 A	収入済額 B		差引額 B - A	収入率 B / A
			構成比		
1 分担金及び負担金	3,936,969,000	3,936,969,000	76.63	0	100.00
2 使用料及び手数料	16,000,000	17,336,800	0.34	1,336,800	108.36
3 国庫支出金	70,304,000	76,992,172	1.50	6,688,172	109.52
4 財産収入	3,582,000	7,459,566	0.14	3,877,566	208.26
5 繰入金	155,942,000	155,942,000	3.04	0	100.00
6 繰越金	47,291,000	47,291,851	0.92	851	100.01
7 諸収入	24,533,000	28,783,957	0.56	4,250,957	117.33
8 組合債	980,300,000	866,600,000	16.87	△ 113,700,000	88.41
合 計	5,234,921,000	5,137,375,346	100.00	△ 97,545,654	98.14

各款別の歳入の状況についてみると、当広域行政組合運営のための構成市からの負担金が歳入全体の76.63%（前年度より48,735,000円の増加）を占めている。

次に、使用料及び手数料は、危険物許可等申請手数料17,242,500円が主なものであり、前年度に比べ47,000円（0.27%）の増加となっている。

国庫支出金は、高規格救急車、水槽付き消防ポンプ自動車Ⅱ型、救助工作車Ⅲ型の整備に対して、緊急消防援助隊設備整備費補助金70,304,000円の交付を受けたもので、前年度に比べ4,436,828円（△5.45%）の減少となっている。減少要因としては、補助金対象台数は同数であるが、車種の違いによるものである。

財産収入は、基金の運用益等43,994円、消防車両4台、パソコン関係機器および金属廃棄物の売払代金6,576,219円に加えて自動販売機設置貸付費813,873円によるもので、前年度に比べ5,645,943円（311.31%）の増加となっている。

諸収入は、滋賀県消防学校教官派遣職員および滋賀県防災航空隊派遣職員に係る給与費負担金、滋賀県防災ヘリコプター運航調整交付金、高速自動車国道における救急業務支弁金などで、前年度に比べ1,225,590円（4.45%）の増加となっている。

組合債は、消防車両等整備事業、消防庁舎整備事業、高機能消防指令システム等安定稼働化事業により、前年度と比べ607,800,000円（234.85%）の増加となっている。

対 前 年 度 比 較

(単位：円、%)

款 別	令和5年度 A	令和4年度 B	増減額 A - B	伸率 A / B - 1
1 分担金及び負担金	3,936,969,000	3,888,234,000	48,735,000	1.25
2 使用料及び手数料	17,336,800	17,289,800	47,000	0.27
3 国庫支出金	76,992,172	81,429,000	△ 4,436,828	△5.45
4 財 産 収 入	7,459,566	1,813,623	5,645,943	311.31
5 繰 入 金	155,942,000	142,775,000	13,167,000	9.22
6 繰 越 金	47,291,851	28,936,298	18,355,553	63.43
7 諸 収 入	28,783,957	27,558,367	1,225,590	4.45
8 組 合 債	866,600,000	258,800,000	607,800,000	234.85
合 計	5,137,375,346	4,446,836,088	690,539,258	15.53

令和5年度末現在における地方債の現在高に関する調書

(単位：円)

	令和4年度末 現 在 高 A	令和5年度 発 行 額 B	令和5年度 償 還 元 金 額 C	差引現在高 A + B - C
清 掃 債	135,250,000	0	67,850,000	67,400,000
消 防 債	2,529,093,309	866,600,000	271,781,423	3,123,911,886
合 計	2,664,343,309	866,600,000	339,631,423	3,191,311,886

(3) 歳出の状況

歳出の決算状況は、次のとおりである。

予 算 現 額 5,234,921,000 円

支 出 済 額 5,037,165,799 円

翌年度繰越額 143,244,000 円

不 用 額 54,511,201 円

予算現額に対する執行率は、96.22%（前年度98.96%）で、支出総額は前年度と比較して637,621,562円（14.49%）の増加となっている。

款 別 執 行 状 況

(単位:円、%)

款 別	予算額 A	支出済額		翌年度繰越額 繰越明許費C	不用額 A - B - C	執行率 B / A
		B	構成比			
1 議会費	2,284,000	2,055,305	0.04	0	228,695	89.98
2 総務費	446,642,000	441,448,415	8.76	0	5,193,585	98.83
3 衛生費	164,554,000	162,507,834	3.23	0	2,046,166	98.75
4 消防費	4,271,362,000	4,084,576,263	81.09	143,244,000	43,541,737	95.63
5 公債費	347,079,000	346,577,982	6.88	0	501,018	99.85
6 予備費	3,000,000	0	—	0	3,000,000	0.00
合 計	5,234,921,000	5,037,165,799	100.00	143,244,000	545,112,201	96.22

対 前 年 度 比 較

(単位：円、%)

款 別	令和5年度 A	令和4年度 B	増減額 A-B	伸率 A/B-1
1 議 会 費	2,055,305	2,604,131	△548,826	△21.08
2 総 務 費	441,448,415	489,212,314	△47,763,899	△9.76
3 衛 生 費	162,507,834	206,883,233	△44,375,399	△21.45
4 消 防 費	4,084,576,263	3,322,958,912	761,617,351	22.92
5 公 債 費	346,577,982	377,885,647	△31,307,665	△8.28
6 予 備 費	0	0	0	—
合 計	5,037,165,799	4,399,544,237	637,621,562	14.49

各款別の歳出執行状況についてみると、議会費は、支出済額が前年度に比べ548,826円(△21.08%)の減少となっている。支出済額で主なものは、議員報酬1,924,826円である。なお、主な減少要因は、台風6号が研修予定先(福岡県)に接近する予報により議会研修を中止したためである。

総務費は、支出済額が前年度に比べ47,763,899円(△9.76%)の減少となっている。支出済額で主なものは、職員給料62,583,720円、退職手当155,956,873円、市町村職員共済組合負担金40,410,094円である。なお、主な減少要因は、退職手当の減少によるものである。

衛生費は、支出済額が前年度に比べ44,375,399円(△21.45%)の減少となっている。支出済額で主なものは、職員給料6,993,720円、長期包括的運転管理業務委託料132,744,306円である。なお、減少要因は、令和4年度事業である中央監視システムの更新工事費減によるものである。

消防費は、支出済額が前年度に比べ761,617,351円(22.92%)の増加となっている。支出済額で主なものは、職員給料1,180,039,920円、市町村職員共済組合負担金395,890,743円、消防指令システム部分更新整備委託業務565,444,000円、北消防署出張所新築工事施行業務285,794,000円、高規格救急自動車2台63,536,000円、水槽付き消防ポンプ自動車58,190,000円、救助工作車149,380,000円である。

公債費は、支出済額で前年度に比べ31,307,665円(△8.28%)の減少となっている。支出済額の内訳は、元金339,631,423円、利子6,946,559円である。

なお、一般会計に係る令和5年度末における地方債の現在高は、3,191,311,886円で前年同期に比べ526,968,577円の増加である。

性質別経費の決算状況

(単位：円、%)

	決算額		増減		構成比	
	令和5年度	令和4年度	金額	比率	令和5年度	令和4年度
人件費	2,992,985,075	3,097,800,008	△ 104,814,933	△3.38	59.42	70.41
物件費	1,031,727,196	488,728,056	542,999,140	111.10	20.48	11.11
維持補修費	5,177,936	8,796,266	△ 3,618,330	△41.13	0.10	0.20
補助費	17,692,246	17,237,281	454,965	2.64	0.35	0.39
公債費	346,577,982	377,885,647	△ 31,307,665	△8.28	6.88	8.59
普通建設事業費	566,343,370	409,020,243	157,323,127	38.46	11.25	9.30
積立金	76,661,994	76,736	76,585,258	99,803.56	1.52	0.00
予備費	0	0	0	—	0.00	0.00
合計	5,037,165,799	4,399,544,237	637,621,562	14.49	100.00	100.00

次に、歳出を性質別にみても、人件費は、前年度に比べ 104,814,933 円 (△3.38%) の減少となっている。これは、退職手当の減少が主なものである。

物件費は、前年度に比べて 542,999,140 円 (111.10%) の増加となっている。これは、消防救急デジタル無線システムおよび高機能消防指令システムの部分更新整備に係る経費 (委託料) が増加したことが主なものである。

維持補修費は、前年度に比べて 3,618,330 円 (△41.13%) の減少となっている。

補助費は、前年度に比べて 454,965 円 (2.64%) の増加となっている。

公債費は、前年度に比べて 31,307,665 円 (△8.28%) の減少となっている。これは、消防車両の償還終了等によるものである。

普通建設事業費は、前年度に比べて 157,323,127 円 (38.46%) の増加となっている。北消防署出張所の建設工事業務、建設工事施工監理業務、解体工事設計業務によるものである。

積立金は、前年度に比べて 76,585,258 円 (99,803.56%) の増加となっている。これは、職員退職手当基金への積立金の増加によるものである。

2 救急医療特別会計

(1) 総括

令和5年度救急医療特別会計の決算状況は、予算額 201,313,000 円に対し、

収入済額 198,822,342 円

支出済額 197,149,350 円

差引残額 1,672,992 円

となっており、当年度の形式収支は 1,672,992 円の黒字となっている。

また、実質収支にあつては、翌年度へ繰り越すべき財源が無いことから形式収支と同額の 1,672,992 円の黒字となっている。

なお、前年度実質収支が 14,696,687 円あるので、これを差し引くと 13,023,695 円の単年度赤字決算となっている。

救急医療特別会計決算収支表

(単位:円、%)

区 分	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
歳入総額 ①	198,822,342	210,724,920	△ 11,902,578	△5.65%
歳出総額 ②	197,149,350	196,028,233	1,121,117	0.57%
形式収支 ③=①-②	1,672,992	14,696,687	△ 13,023,695	△88.62%
翌年度へ繰り越すべき財源 ④	0	0	0	-
実質収支 ⑤=③-④	1,672,992	14,696,687	△ 13,023,695	△88.62%
単年度収支(実質収支-前年度実質収支) ⑥	△13,023,695	△1,864,739	△11,158,956	△598.42%

(2) 歳入の状況

歳入の決算状況は、次のとおりである。

予算現額 201,313,000 円

調定額 198,826,992 円

収入済額 198,822,342 円

不納欠損額 0 円

収入未済額 4,650 円

令和5年度の収入済額は、前年度に比べ 5.65%減少しており、予算現額に対する割合は、98.77%（前年度 104.33%）、調定額に対する割合は 99.99%（前年度 100%）となっている。

款 別 収 入 状 況

(単位：円、%)

款 別	予算額 A	収入済額 B		差引額 B - A	収入率 B / A
			構成比		
1 分担金及び負担金	86,697,000	86,697,000	43.61	0	100.00
2 使用料及び手数料	80,394,000	77,902,655	39.18	△ 2,491,345	96.91
3 県 支 出 金	19,526,000	19,526,000	9.82	0	100.00
4 繰 越 金	14,696,000	14,696,687	7.39	687	100.01
合 計	201,313,000	198,822,342	100.00	△ 2,490,658	98.77

款別の歳入の状況についてみると、構成市からの負担金が歳入全体の43.61%（前年度より25,107,000円の減）を占めている。

次に、使用料及び手数料は、休日急病診療所受診患者の診療報酬77,902,655円（前年度より14,136,161円の増）が主なものであり、歳入全体の39.18%を占めている。

県支出金は、小児救急診療業務に係る小児救急医療支援事業費補助金、また、外来対応医療機関設備整備事業費補助金の交付を受けたものである。

繰越金は、昨年度に比べ1,864,739円（△11.26%）の減少となっている。

対前年度比較

(単位：円、%)

款 別	令和5年度 A	令和4年度 B	増減額 A - B	伸率 A / B - 1
1 分担金及び負担金	86,697,000	111,804,000	△25,107,000	△22.46
2 使用料及び手数料	77,902,655	63,766,494	14,136,161	22.17
3 県 支 出 金	19,526,000	18,593,000	933,000	5.02
4 繰 越 金	14,696,687	16,561,426	△1,864,739	△11.26
合 計	198,822,342	210,724,920	△11,902,578	△5.65

令和5年度末現在における地方債の現在高に関する調書

(単位：円)

	令和4年度 現 在 高 A	令和5年度 発 行 額 B	令和5年度 償還元金額 C	差引現在高 A + B - C
病院事業債	7,699,464	0	7,699,464	0
合 計	7,699,464	0	7,699,464	0

(3) 歳出の状況

歳出の決算状況は、次のとおりである。

予 算 現 額 201,313,000 円
 支 出 済 額 197,149,350 円
 翌年度繰越額 0 円
 不 用 額 4,163,650 円

予算現額に対する執行率は、97.93%（前年度97.05%）で、支出総額は前年度と比較して1,121,117円（0.57%）の増加となっている。

款 別 執 行 状 況

(単位：円、%)

	予算額 A	支出済額		不用額 A - B	執行率 B / A
		B	構成比		
1 衛 生 費	192,589,000	189,426,780	96.08	31,622,000	98.35
2 公 債 費	7,724,000	7,722,570	3.92	1,430	99.98
3 予 備 費	1,000,000	0	0.00	1,000,000	0.00
合 計	201,313,000	197,149,350	100.00	4,163,650	97.93

各款別の執行状況についてみると、衛生費の支出済額は189,426,780円で、主なものは、休日急病診療所の医師、薬剤師、看護師等に対する報酬64,046,026円、診療所警備業務委託料2,007,060円、二次救急診療業務および小児救急診療業務委託料61,992,564円である。

公債費は、休日急病診療所の新築工事にかかる起債の償還であり、支出済額の内訳は、元金7,699,464円、利子23,106円で、令和5年度末における地方債の現在高は0円で償還済みである。

対 前 年 度 比 較

(単位：円、%)

款 別	令和5年度 A	令和4年度 B	増減額 A - B	伸率 A / B - 1
1 衛 生 費	189,426,780	188,305,663	1,121,117	0.60
2 公 債 費	7,722,570	7,722,570	0	—
3 予 備 費	0	0	0	—
合 計	197,149,350	196,028,233	1,121,117	0.57

次に、歳出を性質別にみると、人件費は、前年度に比べて3,869,410円(4.04%)の増加となっている。

なお、診療日数73日(通常期50日、GW6日、年末年始6日、冬季繁忙期11日)で、GWが前年度に比べてプラス1日であった。

物件費は、前年度に比べて3,879,609円(5.12%)の増加となっている。これは、受診患者の増加に伴い、医薬材料費や消耗品費が増加したものである。

補助費は、前年度に比べて6,597,102円(△39.64%)の減少となっている。

公債費は、前年度と同額となっている。

性質別経費の決算状況

(単位：円、%)

	決算額		増減		構成比	
	令和5年度	令和4年度	金額	比率	令和5年度	令和4年度
人件費	99,697,032	95,827,622	3,869,410	4.04	50.57	48.88
物件費	79,685,452	75,805,843	3,879,609	5.12	40.42	38.67
維持補修費	0	30,800	△30,800	皆減	0.00	0.02
補助費	10,044,296	16,641,398	△6,597,102	△39.64	5.09	8.49
公債費	7,722,570	7,722,570	0	0.00	3.92	3.94
普通建設事業費	0	0	0	—	0.00	0.00
積立金	0	0	0	—	0.00	0.00
予備費	0	0	0	—	0.00	0.00
合計	197,149,350	196,028,233	1,121,117	0.57	100.00	100.00

3 財産に関する調書

財産に関する調書については、提出された調書、財産台帳、証書類を照合審査したところ符合して相違なかった。

(1) 公有財産

土地および建物

(単位：㎡)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現在高
行政財産	26,105.00	0.00	26,105.00	22,753.23	0.00	22,753.23

土地、建物共に前年度からの増減は無かった。

(2) 施設、無体財産権および物品

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
し尿処理施設 高負荷(生物脱窒素)処理方式+高度処理施設	一式	0	一式
無 体 財 産 権 Qカード(カードゲーム型教育教材)	1 件	0	1 件
各 種 自 動 車	45 台	0	45 台
そ の 他	357	+18	375

備考：物品は、湖南広域行政組合物品会計規則第5条に基づく取得価格または評価額が1件100万円以上の物品および自動車を計上

増加物品

三連梯子、空気式救助マット、マンホール救助器具、油圧ジャッキ、油圧切断機、携帯救助工具、熱画像直視装置、除染シャワー、可搬式フロア、人工呼吸器用自動呼吸管理装置、メインストレッチャー、自動心臓マッサージ

第4 基金の運用状況

(単位：円)

基金の種類	区分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
財政調整基金	現金	38,965,248	積立 15,586	38,980,834
職員退職手当基金	現金	141,654,431	積立 76,646,408 取崩 155,942,000	62,358,839
庁舎整備基金	現金	0	0	0
合計		180,619,679	積立 76,661,994 取崩 155,942,000	101,339,673

基金は、前年度末現在高と比較して、79,280,006円減少し、101,339,673円となっている。これは、財政調整基金に15,586円、職員退職手当基金に76,646,408円積立てし、職員退職手当基金から155,942,000円取崩したことによる。

審査に付された各基金は、設置目的に沿って運用され、諸帳簿、証拠書類と照合した結果、計数は正確で、実績が的確に表示されているものと認めた。

第5 むすび

我が国の景気は、雇用や所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されていますが、一方で世界情勢の不安定化、海外景気の下揺れリスク、金融資本市場の変動、物価高騰などが、我が国経済に与える影響に注視する必要があります。

構成4市においても、不確定要素を抱えながらも地域経済は回復基調にあり、それに相まって市税収入も増加が見込まれます。しかしながら、歳出面においては、社会保障関係費の増大や物価高騰などの影響による歳出増に加え、処遇改善が進む人件費の増加もあり、今後も厳しい財政状況が見込まれています。

このような厳しい状況ではありますが、令和5年度は湖南広域行政組合運営指針 - 基本指針 - 初年度であり、その基本理念である「安心・安全・快適な暮らしをつくる」ため、各業務に日夜精励されていることに対し、心から感謝します。

まず、広報関係においては、スマートフォンなどのモバイル媒体に対応するため、ホームページを大幅にリニューアルしていただき、とても拝見しやすいものになり、住民サービスの向上に繋がっていると感じています。

広報紙「こなん」の発行については、現状に合わせた発行数としていただいておりますが、経費の節減につながっていますが、新聞折り込み部数の減少傾向は今後も継続するものと予想されます。このことから市民への広報のあり方について、今一度、

検討いただくようお願いします。

環境衛生分野においては、長期包括委託により安定稼働に繋がっているものの高額な経費であるため、次期契約時においては仕様書の内容等を見直していただきたい。また、搬入量と処理量がともに減少し、処理方法も変更していることを踏まえて、適正な施策の在り方を早急に検討いただくようお願いします。

次に、消防防災分野では、違反是正は過去最多の是正件数 1,414 件となっており、違反是正率も最多の 122 パーセントで違反処理の成果が確認できています。

近年 2 方向避難ができない雑居ビル火災も発生しています。痛ましい事故を予防するため、引き続き、是正指導をお願いします。

資機材は計画的に更新整備をしていただいています。庁舎整備の関係では、北消防署出張所の建設を完了され、令和 6 年度から本格的に庁舎改修計画に取り組んでいただいている。各種事務に遺漏なきようお願いします。

なお、消防車両等の更新整備においては、物価高騰の影響も危惧されますが、年々、高額化していることから、仕様検討も含め、複数の業者から入札していただける工夫をお願いします。

また、隣接する消防本部において、消防訓練中における死亡事故が発生していることから、事故防止には細心の注意を払い、安全対策の強化について留意願います。

保健医療分野について、病院群輪番制により運営していただいている中で、医師会、薬剤師会、関係病院等との連携を良好に保ち運営していただいています。

また、令和 6 年度総務部重点施策にも掲げているキャッシュレス決済導入に向けた検討、環境整備については、住民サービスが確実に発展し、事務の効率化にもつながることから、積極的に検討をお願いします。

最後に、本組合の運営にあたっては、最小の経費で最大の効果を挙げることは常に求められることでもあります。財政規律の確保、効率的で効果的な行財政運営に不断の努力をお願いしたい。

なお、今年度、当組合では発生しておりませんが、職員の不祥事は、市民の信頼を大きく損なうものでありますので、引き続き、職員一人ひとりがコンプライアンス意識を高く保ちながら業務への精励をお願いします。